

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター

事業者名	住友生命保険相互会社 九州総合法人部
代表者名	池田 隆二郎
所在地	福岡市博多区博多駅前3-2-8 住友生命博多ビル
市内拠点所在地	(所在地が市外の場合のみ記載) -
業種	金融業、保険業
電話番号	092-409-5281
ホームページ	https://www.sumitomolife.co.jp/

Well-being 向上 に向けた取組み	中期経営計画に「Well-being as a Service (WaaS)」を掲載。これを支えるサービスをエコシステムとして展開。WaaSエコシステムは“住友生命「Vitality」”による「健康増進」サービスのほか、病気があってもより良く生きるためのサービス、歳を重ねる中でもより良く生きるためのサービスを提供することで、一人ひとりにとって、より良い「ウェルビーイングへの貢献」を目指している。		
アンケート実施	<input type="radio"/>	アンケートの 社内共有	<input type="radio"/>

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート

事業者名：住友生命保険相互会社 九州総合法人部

カテゴリ	チェック項目	3側面該当			具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs																
		環	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		境	会	經		HR	SDG1	SDG2	SDG3	SDG4	SDG5	SDG6	SDG7	SDG8	SDG9	SDG10	SDG11	SDG12	SDG13	SDG14	SDG15	SDG16
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。	○	○	○	ウェルビーイングに貢献する根幹となるのは「人の価値」であるため、「人財共育」として様々な取り組みを進めている。ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンの理念を掲げ、多様な人財の活躍に向け取り組んでいる。(2021女性管理比率47%)					○		○	○									
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。	○	○	○	働き方の変革を進めため、WPI(ワーク・パフォーマンス・イノベーション)プロジェクトに取り組んでいる。(2021総労働時間削減2016対比11%削減)(2021月1日以上有給休暇取得者占率76%)					○	○	○	○									
	【人権の尊重】 ・ハラスマントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。	○	○	○	「住友生命グループ行動規範」ならびに「住友生命グループ人権方針」を定め、人権に関する啓発・教育等を推進している。(毎月の人権を考える日運営、人権啓発標語の応募奨励等)					○	○	○	○							○		
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。	○	○	○	上記【多様な働き方の促進】のとおり		○	○	○	○	○	○	○	○								
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。	○	○	○	上記【ダイバーシティ経営の促進】のとおり		○	○	○	○	○	○	○	○								
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	機関投資家として、再生可能エネルギー事業案件などESG投融資を積極的に進めている。電気使用量削減、ペーパーレス、プラスチックゴミ削減等に取り組むよう運営している。		○			○				○	○	○	○	○	○	○	○	
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○	○	○	温室効果ガス排出量の2050年ネットゼロを目指している。また中間目標として2030年の削減目標を定めている。エコパック、マイボトル推進による廃棄物削減などに取り組んでいる。					○			○		○	○	○	○	○	○		
環境	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○	○	○	サンゴ礁保全プロジェクト、スマセイ・ヒューマニー活動等を推進し、多くの職員が参加することを通じてCSRを推進している。						○				○		○	○	○	○	○	
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○		○	エコパック、マイボトル推進等に取り組んでいる。							○			○							
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。	○	○	○	リスク管理態勢等に関する方針を定めた「リスク管理方針」や、これらの管理方針に基づき、具体的なリスク管理手法等を定めた「リスク管理規程」等を定めている。本社に専門部署を設置し、一元的な管理業務を遂行している。		○										○				○	
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	サステナビリティ経営方針を制定し、その中でサステナビリティ重要項目を定めている。同項目は、ステークホルダー視点と住友生命事業視点の両軸から優先順位付けを行った16項目から成り立っている(先進的な商品・サービスの開発・提供、地域社会への貢献等)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	○		○	上記【製品・サービスの安全性】のとおり。オペレーションリスクのなかに情報リスクを位置づけ管理するとともに、個人情報の適切な取り扱いを社内規定として明確化し、社内通知や社内研修等で周知徹底している。																○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みが整備されている。	○		○	「社会公共の福祉に貢献する」というパーソナルに基づいて、経営の基本理念である「経営の要旨」ならびに行く職員一人ひとりが実践していく指針を定めた「住友生命グループ行動規範」に則り業務を遂行している。これらは社内通知や社内研修等で周知徹底している。																	○
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。	○		○	上記【法令順守】のとおり												○	○				
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	大規模な災害等が発生した場合に備え「危機管理規程」を定め、さらに「大規模災害等マニュアル」で大規模災害発生時の意思決定・事務遂行能力維持のための体制・手順等を規定している。												○	○	○	○	○	○